

や 広報たしる

No. 395

昭和61年7月号

田代町企画管財課

2,000部発行

田代町町民憲章：わたくしたち田代町民は、美しい自然と人情豊かな郷土に誇りを持ち、先人の努力に感謝し、さらに豊かで住みよい町にするため、この憲章を定めます。（昭和54年1月1日制定）



川原保育園

たなばた

7月7日「七夕」

人口のうごき

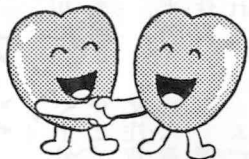
昭和61年6月1日現在

住民基本台帳人口	前月に対する増減
男 1,980 人	△ 3 人
女 2,180 人	△ 3 人
計 4,160 人	△ 6 人
世帯数 1,452 戸	△ 2 戸

7月7日の「七夕」を前に川原保育園では、6月23日から「七夕」の飾りつけに園児たちはいっしょうけんめいです。

園児たちは、「かけっこがはやくなりますように」や「入院しているおばあちゃんの病気がなおりますように」「スピルマンになりたい」など、さまざまな思いをたんざくにたくしていました。みなさんも、「七夕」を飾り、星をながめながら、遠い世界に思いを寄せてみてはいかがでしょうか。

愛！それは献血



《愛の血液助け合い運動》

7月1日～31日



田代町中央運動場

田代町中央運動場で、六月五日、県の消防学校から教官をまねき、ポンプ操法の指導が行われました。

消防団の現地指導は、県の消防学校の年間計画の一環として「ポンプ操法や規律訓練」が毎年行われていますが、七月二十五日にポンプ操法大会があるため、ポンプ操法を重点的に指導しました。

最後に、消防学校の教官より、「県内の中でも、南部地区はポンプ操法の技術レベルが高い方である。団員の取組む姿勢も熱心であった。七月の操法大会にむけて、さらに練習に励んでもらいたい」との講評がなされました。

尚、七月二十五日、肝属郡の消防操法大会が鹿屋市であります。田代町から小型ポンプの部で川原分団、自動車ポンプの部で大原分団が出場し、毎日、練習に励んでいますので町民の方々のご支援をお願いいたします。

四か町消防団現地指導

「田代町中央運動場にて」

田代町中央運動場で、六月五日、県の消防学校から教官をまねき、ポンプ操法の指導が行われました。

最後に、消防学校の教官より、「県内の中でも、南部地区はポンプ操法の技術レベルが高い方である。団員の取組む姿勢も熱心であった。七月の操法大会にむけて、さらに練習に励んでもらいたい」との講評がなされました。

田代同好会が優勝

「田代町バレーボール協会杯バレーボール大会」

去る六月十七日、十八日の両日にかけて町協会のバレーボール大会が開催された。

当日は午後六時三十分から田代小、高の体育館で役場A、B、農協A、B、郵便局、同好会、鳥淵、早瀬、盤山の九チームが出場し、熱戦がくりひろげられた。

協会が設立されてから新春大会、地区大会、そして今回の協会の杯大会と三回の大会が開催され、田代町のバレーボールに関する関心の低さと愛好者のきわめて少ない中に、

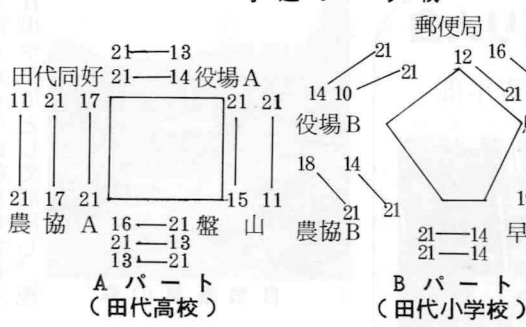


シートベルト着用推進運動
(8月1日～9月20日)

決勝トーナメント戦



予選リーグ戦



特に鳥淵、早瀬、盤山の部落チームが積極的に参加されバレーボールに対する関心が高まりつつあることは協会の趣旨でもあり大変よろこばしい事である。

大会の結果は次のとおりです。

造林地の下刈、除間伐の補助申請は早目に

夏山の手入れの時期となりました。今が造林木の最も生長する時期で雑草も繁殖おう盛な、七月、八月頃適期に下刈保育することが造林木の育成上最も大事な事です。

森林組合では、森林総合整備事業、集団間伐事業により一年生から八年生の造林地で一反歩以上、下刈をすると補助金が交付されます。また、九年生から三十年生の造林地で除伐、間伐すると補助の対象になります。昨年より補助率が高まりました。

下刈の補助申込みは、八月二日までです。除伐、間伐の選木等の調査は、除間伐指導員、森林組合技術員が致しますので早目に申込み下さい。

くわしいことや造林保育作業については、町役場経済課か森林組合に問合せて下さい。



田代町正副小組合長と 田代町技連会合同町内研修



畜産基地 鶴園の畜舎を研修

田代町小組合長連絡協議会では、六月二十七日、正副小組合長と田代町技連会合同の町内研修を行いました。

田代町小組合長連絡協議会は、町内の優良農家の経営や小組合団体グループ等の研修経済振興対策等について技連会との合同研修を毎年行っています。

今年は、午前中畜産基地建設事業による鶴園の畜舎、辺志切地区の飼料畑をはじめ、郷ノ原のシイタケ、カキ、猪鹿倉のハウスメロン、電照ギ



むらづくり一品シイタケ研修

ク、瀬戸口のカキ、鶴野の茶園、新田地区のハウスカボチャ、そして最後に山ノ口地区の圃場整備等の現地研修を行いました。午後は、三月に完成したばかりの岩崎集落センターで午前中の反省やむらづくり一品運動の課題と今後のすめ方について検討がなされ有意義な研修が行われました。

田代町製茶品評会

最優秀賞

吉田 勝

田代町茶業振興会(会長・鍋光磨)主催による、田代町製茶品評会が五月二十九日、なんぐら農協田代支所会議室で行われました。

田代茶の銘柄確立のため生産過程や製茶加工技術過程等における改善事項や問題点を検討し、優良茶の安定を図るため、毎年行われていました。

当日は、三十八点の出品がなされ、外観三十点、香氣七点、水色三十点、味七点の合計二百点で、審査員三名で熱心な審査が行われました。

審査員の講評では、年々、良質茶が出品されて来たり、品評会出品茶の良い茶、悪い茶の格差が少なく、今回も審査に苦戦しました。今後は、品評会に出品する茶は、できるだけ、製品の保管に注意し品評会に出品していただきたい

たばこ消費税は
暮らしている中に生かされています



●たばこは地元で買ひましょう。



農協会議室

い等、講評がありました。

尚、五月二十二日現在の、一番茶の単価は、平均四千九百一十円で、総販売額も、念願の三億円を突破し、鍋会長をはじめ、茶関係者を喜ばせました。

成績は、次のとおりです。

最優秀賞 吉田 勝 盤山
優秀賞 松ノ下大作 中尾
坂口千津子 東大原
入来院正昭 富田
田畑 嘉則 盤山
田尻 静夫 新田
松ノ下和馬 中尾
坂口 幸夫 東大原
東郷 三郎 富田
君村美代子 富田
坂口 勇雄 東大原

花瀬公園

プール、キャンプ場開設
「七月十九日～八月三十一日」

夏休みが近づき、花瀬公園のプール、キャンプ場が本年も「七月十九日から八月三十一日」まで開設されます。

花瀬公園は、昭和五十七年度までに、キャンプ施設、ストレッチック施設、流水プール、子供広場等の整備を終え、子供たちの夏休み期間、開設しています。昨年、この期間中にキャンプ場、プール等の総入園者は、一万三千人にもおよび、日帰りキャンプや遠足等で花瀬公園を訪れる人を含めると三万人を越えています。

現在、キャンプ場の受付を行っています。六月三十日現在で、八月十六日までの土曜日は、すべて予約で満ぱいになっています。

尚、花瀬公園の施設使用料は次のとおりです。

一、テント………一張六人用六百元、持込み一人一百円、炊事用具一人一百円、

二、プール………大人四百円、小中学生三百円、幼児二百円、三、ストレッチック………大人二百円、小人一百円

国分林では五十九年度から分収育林制度を実施、六十年
度二回の公募も町民の皆さま
の御支援によりまして大きな
成果を得ました。
大根占管林署では、今年度
も分収育林の希望者を次の要
領で募集しております。
分収育林（緑のオーナー制
度）とは
参加される皆さまと国有林
（国）との間で育成途上のス
ギ、ヒノキの人工林（おおよ
そ二十一年から三十年の森林）
について、成林し伐採するま
での間（二十～三十年でいど）
共同で育てる契約を結びます。
契約の主な内容は
参加される皆さまは



あなたも緑のオーナーになりませんか 「国有林が分収育林を公募」

- 一、一口当たり五十万円（森林保険料を含みます。）を負担していただき、契約の対象となる森林の立木の共有者となり持分を取得します。
二、契約で定めた時期に立木を販売して、その収益の分配を受けます。
三、応募の資格は、個人、法人、団体どなたでも参加できます。
もちろんその契約期間中、国は責任をもって分収育林の保育管理を行います。
今回公募しているところは、
一、田代町麓、内ノ牧国有林三十三林班へ林小班、スギ、ヒノキ二十六年生、面積三万七千五百九十一平方メートル、募集口数 十二口
二、田代町麓、内ノ牧国有林四十九林班へ小班、スギ二十六年生、面積三万八千二百二十六平方メートル、募集口数、四口、
三、募集期間、六十一一年六月十八日から六十一一年七月二十七日まで
四、問い合わせ先 大根占管林署 電話 二一〇五二一

空きかん散乱防止月間 7月1日～8月31日

空きかん散乱防止月間が「7月1日から8月31日」の2か月間行われます。

国民1人当たり月間、約100個の缶が消費されますが、回収されないままだと、もとの土に戻るまでスチール缶で100年、アルミ缶だと500年にもかかります。美しい自然を守るため皆さま御協力お願いいたします。



空きかん散乱防止月間

今年も、着果している樹は少ないですが、結果樹では今月上旬摘果（不整形果等除去）八月下旬摘果（整形果）に結果が適当で、原則として一結果枝一果とし、強い結果枝は二果葉数五枚以下には、着果させません。

郵政省では、より一層郵便を御利用していただくために次のサービス改善施策が七月一日から実施されています。
一、郵便規則第八十五条適用地の改善……町内にはありませんが、特に交通困難であるため、通常の方法により郵便物を配達することができなかった地域が、道路事情等が改善されたことに伴い全国的に見直されました。
二、速達取扱地域の全国拡大……現在、大原全域及び原沢、池野、瀬戸口、猪鹿倉、鳥淵、迎志切の各集落は、速達配達

郵便局より連絡 「速達取扱地域の全国拡大等 郵便サービスの改善」

の取扱いをしていませんでしたが、お客様のスピード志向が極めて強くなってきたことから速達郵便物のサービス改善を図られたところです。
三、小包郵便物の配達方法の改善……小包郵便物は、速達小包の航空機搭載、郵便集荷、郵便切手売りさばき所での取り次ぎ等を行って来ましたが、最近の生鮮食品等ことなどから、翌日扱いとしていたものとのできる限り当日中に届けたいと考えていま

村づくり一品運動 「管理作業」

- 一、土壌管理
梅雨明け後、日増しに真夏の太陽が照りつけてくると、土壌の乾燥がおこり、樹体の生育に影響します。したがって、梅雨のあける直前から草刈り、敷草、敷わらなどとして土壌水分の急激な蒸散を防ぐようにすることが必要です。
二、病害虫防除
梅雨の後期は、日照不足と長雨で、病害虫発生が多くなります。梅雨明け前に完全に防除して下さい。七月上旬、ダイファ水和剤四百倍、なお、ハマキムシ類の防除は発生に応じスミチオン水和剤千倍を加用し散布します。
三、摘果
今年も、着果している樹は少ないですが、結果樹では今月上旬摘果（不整形果等除去）八月下旬摘果（整形果）に結果が適当で、原則として一結果枝一果とし、強い結果枝は二果葉数五枚以下には、着果させません。

大雨シーズン がけ崩れに ご用心

今年も梅雨の季節が終りに近ずき、引き続き台風、季節がやってくる。
本県は、県土のおよそ半分が水を含むと崩れやすい性質をもつシラス土壌に覆われているうえ、台風常襲地帯でもあります。また、梅雨末期に見舞われることも多いことなどから、毎年、土砂災害（土石流、地すべり、がけ崩れ）が多発し、大きな被害を受けてきました。

緊急時に適切な措置がとれるよう、日頃から次のようなことに気をつけましょう。

一、わが家の危険度の確認
日頃から自分の家のまわりを十分確認しておきましょう。

二、大雨の時の要注意
土石流は、一時間に二十ミリの強い雨が降ったり、降りはじめからの降雨量が百ミリ以上に達すると発生しやすい。



雨の降り方とおおよその雨量（1時間）

5～10ミリ	雨がトタン屋根を打つ音が聞こえ、あちこちに水たまりができる。
10～20ミリ	雨音で話もよく聞かれない。一面に水たまりができる。
20～30ミリ	土砂降りや側溝があふれ、小さな川のはらんやがけ崩れが始まる。
30ミリ以上	バケツをひっくりかえしたような激しい雨。

十分な警戒が必要です。テレビ、ラジオの気象情報に特に注意し、危いと思ったら早めに避難しましょう。
三、避難所を決めておく
ふだんから避難方法、避難場所、道順を決めておけば安心です。
四、緊急避難の際には
例えば、土石流が発生した場合に流れと直角の方向に逃げるのが鉄則となっています。とつきの時に判断を誤らないために、ふだんから緊急避難の方法を心がけておきましょう。

県民の森を御存知ですか

県民の森は「二十一世紀へつなごう、輝くみどり」をテーマに、昭和五十九年五月本県で開催された、第三十五回全国植樹祭を記念して設置されました。

緑豊かな自然ときれいな空気の中で、多くの県民の皆さんに、心のやすらぎや保健休養の場として利用していただきながら、森林、林業や自然に対する理解を深めるとともに、特に青少年の皆さんに体験学習等を通じて森林愛護思想の高揚をはかっていただけるように多くの施設が設置されています。

主な施設として、森林学習展示館をはじめ、自然薬草の森、えびねの森、林間キャン



森林学習展示館と前庭

夏まつり盆おどり大会

主催…田代町商工青年部



昨年の盆おどりパレード

○日時……7月29日（火）
雨天の場合……30日（水）
○場所……中央運動場



自然薬草の森



生垣見本園

代でも高く評価され、日常よく使用されているものが五、三ヘクタールに約三百種類、植栽されています。
皆さんも、ぜひ一度、足を運ばれてはいかがでしょう。尚、詳しいことは、鹿兒島県民の森管理事務所に御連絡ください。
電話 〇九九五(68)〇五五七

健康だより
「母乳」
哺乳類にとって、その母の分泌する乳汁は乳児期の最高の栄養であるとされている。母乳は栄養組成、免疫効果、温度等について絶対的な長所があるのみならず、健全な母子関係の成立に大きく役立つものである。

哺乳類のうち人類は調整粉乳（粉ミルク）等を代替させることによって育児を行っているが、そのため心身の健康上不利な条件下で発育していることも多い。

近年の調製粉乳は母乳に近づいてきているといわれているが、それは栄養組成についてのみ言えることである。ただし、母乳は乳児の自然な欲求に対応するようにその濃度や成分が変動しており、厳密には栄養面においても母乳とはほど遠いものである。近年はあごの発育と母乳吸てつとの関係が注目されてきており、柔らかい食物しか口にできず幼少期から栄養のバランスの偏った食習慣を定着させている最近の傾向へのけいしようとなっている。



母乳育児はこどもの健康によいのみならず、母体の産後の回復を早め、母親としての自信を培うものであり、母子保健上の利点は、はかりしれない。

そして生まれてすぐの赤ちゃんには、まず何をおいても、初乳で消化器の働きを目覚めさせることが、母親としての資格獲得の第一歩なのです。ともかくも可能な範囲で母乳を続ける努力、これこそ母性として堂々と胸を張れることではないでしょうか。



郡民体育大会 七月二十日（日）
家族そろって応援に行きましょう
内之浦町

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません



「篤志寄附金」

田代町社会福祉協議会

さきに御逝去されました方の御遺族より、香典返しを廃止され、社会福祉協議会へ多額の寄附金を賜りました。厚く御礼申し上げますと共に御冥をお祈り致します。

右 田 シナエ 様
川 前 スミ 様



七月の納税は

国民健康保険税二期分

税金はみなさんの幸せのために使われています

楽しい思い出づくりは交通安全から

夏の交通事故防止運動 (7月21日～8月31日)

夏休みの解放感が事故をよぶ

いよいよ子供たちにとって待ちに待った夏休み。海に山に子供たちの歓声があふれる季節です。しかし、夏休みに入ると毎年、子供たちの交通事故が増えています。長い休みの解放感から気持ちのゆるみ、ふだん身につけていた交通安全のルールを忘れがちになるからです。

そこでぜひお子さんたちと、交通安全についてもういちど、じっくりと話しあいの機会をもちましょう。

子供の行動特性

大人の理解できない動きをする

子供は、大人が考えつかないような行動をとることがあります。子供、とくに幼児の行動特性を挙げてみましょう。

- ひとつのものの関心が向くと周囲のものが目に入らなくなる。
- 手を挙げれば、クルマは止まってくれるものと思っている。
- 「危ないよ」というような抽象的な言葉だけでは、ほんとうの危険がわからない。
- いつも通る道路では交通ルールを守れても、初めて通る道路では守れない。
- 物かぎで遊ぶのが好き。
- 音のする方向を正確に判断できない。
- こうした特性を心にとめて、自分の子供の個性や心身の発達に応じて、お母さんが具体的に手本を示して指導することが何より大切です。



具体的な指導のポイント

そこでぜひ指導していただきたいポイントを簡単にまとめてみましょう。

- 道路を横断するときは、横断歩道では、必ずいったん止まって左右を確認することの大切さを教えましょう。
- 信号が青でも、横断歩道上は左折車や右折車が通ることを教えましょう。
- 自転車の安全な乗り方は、道路の左端を正しく走ること、徹底させましょう。

車に乗ったら

シートベルトの着用を忘れずに



夏は暑さのために子供たちもくたくたに疲れているときがあります。そのため注意力が散漫となり、思いがけない事故につながる可能性があります。

また夏休みは、クルマで帰省したり海・山に行く機会も多くありますが、子供を交通事故から守るためには、シートベルトの着用も心がけたいものです。子供には、後部座席で二点式ベルトを着用させるか、子供用保護装置などを用いるようにしましょう。

楽しい夏休みの思い出をたくさん残すために、ぜひ交通安全についてお考えください。



汗臭い柔道衣と黒帯は青春の宝物である。

◎沿革の概要

○昭35・2・17 校歌制定

○昭36・3・1 校旗制定

○昭39・10・14 独立十周年記念式典挙行

校舎とのバランスや日あたり新しく作った花壇との構成なども考え植えてみました。大木やソテツなど大型のものは軽トラで、草刈り機の使用は父母で、そして穴掘り花の植えこみは生徒が受けもち段どりよく午後半日を共に汗を流しました。短時間でしたが授業からの解放感からか、みんな懸命に働いていました。

持ち得ているものすべてを与え、導きたいと考えています。そして、生徒の皆さんにも、最後の一年間、悔いが残らないように精一杯活動して、田代分校の最後の生徒として締めくくってもらいたいと願っています。



稲尾岳、荒西山をはじめとする大隅の山々は殆んど登り終えたような大隅の公園、名所も一通り行ってしまい、もう、大隅地区に来るようなことがなくても十分だと思っていたのですが、次の四月から田代分校だと、しかも、最後の一年だと聞かされたときには、いろいろと考えてしまいました。しかし、人間一生の中で廃校となってしまう年を経験することは、滅多にあることではない。これは貴重な経験になるだろうと考え、三十五名の生徒との生活を始めた次第であります。生徒も素直で探究心が旺盛であらゆる物に興味をいだいています。私の持ち得ているものすべてを与え、導きたいと考えています。

新任教員紹介(後編)

南大隅高校田代分校教諭 中濱一昭

稲尾岳、荒西山をはじめとする大隅の山々は殆んど登り終えたような大隅の公園、名所も一通り行ってしまい、もう、大隅地区に来るようなことがなくても十分だと思っていたのですが、次の四月から田代分校だと、しかも、最後の一年だと聞かされたときには、いろいろと考えてしまいました。しかし、人間一生の中で廃校となってしまう年を経験することは、滅多にあることではない。これは貴重な経験になるだろうと考え、三十五名の生徒との生活を始めた次第であります。生徒も素直で探究心が旺盛であらゆる物に興味をいだいています。私の持ち得ているものすべてを与え、導きたいと考えています。

思いやりの心

田代分校三年 永野公作



思いやりの心という心、真先に思い浮かべることは、人をいさよといたうに内面的なものではなく外に出せる感情ではないけれど、人にとって大切な心の一つだと僕は思います。しかし今、まったく思いやりの心を無視した社会的にも大きな問題になっている「いじめ」が頻繁に起こっています。この「いじめ」が最も悪悪の場合、なんの罪もない少年少女が自殺に追い込まれて若い命を断ってしまったという報道をしばしば耳にします。こんな報道を耳にするたびに思うことは、どうすればいじめが、少しでも少なくなるのだろうかということではないけれど僕なりに考えてみれば、いじめの側の一人ひとりが本心に自分達が、どんな過ちを犯しているのか分かっていて、のたうということや、その一人ひとりがいじめられる側に立って見た時の痛みや苦し

私達の身近にある問題をも気をつけて見ると、思いやりの心を持つてばさらに住み良い社会になると思われることが数多く発見できそうな気がします。そのために些細な事柄にもっと細かな観察眼をもって接して生きる努力が望まれる時ではないかと思っています。

思いやりの心というものは話を聞いたり本を読んだりしているときは、その通りだと思っても、いざ具体的などこから始めるかとなるとなかなかわかりにくいものです。それは教えられて頭で覚える事柄ではなくて、人から人へと伝えられ、育てられていくべき性質のものではないかと思っています。

思いやりの心というものは話を聞いたり本を読んだりしているときは、その通りだと思っても、いざ具体的などこから始めるかとなるとなかなかわかりにくいものです。それは教えられて頭で覚える事柄ではなくて、人から人へと伝えられ、育てられていくべき性質のものではないかと思っています。

みを考えてみていかに人をいたわる心が大切かということを知ることができればこの問題は解決しないと思いません。先に僕なりの考えと言いましたが、それは誰でも思っていることだと思いますが、しかし本心に思っているだけではだめだし、周りの人がいくら言っても最終的にはやはりその人自身が反省しなければなりません。

教育だより

大原を知る

郷土学習スタート

大原中学校

「ちまきと麦あめを作ろうが。」「大原の薬草を調べようが。」など六月二十七日の大原中の各教室は生徒の声で弾みだした。今年も大原のことを知ろうという郷土学習がスタートしています。昨年の「花瀬川の水質」「大原茶の歩み」「大原の山菜」など楽しく内容のある研究の成果をふまえ更積み重ねをします。四十四名の生徒が一、三年入り混って七班にわかれ先生といっしょに二月の発表会の日まで研究調査に取り組みます。今年のテーマは次のようになっています。秋の収穫の時が楽しみです。



花の植えつけ

新校舎が落成し、木造の旧校舎が解体され広々と整地された跡地に雑草がはびこってきました。美観を保つためにも今の季節に何か移植をしようということでグラウンドの片隅に仮植してあった樹木を父母、生徒、職員全員で移しました。



樹木の移植

- 一班「大原の郷土料理」(麦あめ、ちまきを中心に)
- 二班「郷土の味覚」(イモあめ作り)
- 三班「平家落人伝説の研究」
- 四班「荒田原遺跡と大原の縄文、弥生時代」
- 五班「大原の子どもの遊びとわらべ唄」
- 六班「昔の治療法」(薬草の研究を中心に)
- 七班「大原の植物の分布」

青春の宝物

南大隅高校田代分校

梅雨空が心配されましたが六月三日大隅地区高体連主催の軟式野球大会の決勝戦が吾平町グラウンドで行われました。対戦相手は吾平高校でした。最後の大会ということで全校生徒・職員が応援に出かけました。

試合は一点を争うシリーズゲームで九回を終り、三対三の同点になりました。延長十回で七点入れ結局十対三で勝ち優勝しました。高校生活の最後を飾るのにふさわしい優勝だったと思います。この思い出は、今となっては残っていて、これまでの人生の中で心のささえとなっています。



吾平町グラウンドにおいて

田代分校思い出シリーズ
今回は第十回卒業で同窓会長の山下敏郎さんをお願いしました。

今から二十八年前の昭和三十三年四月、田代町立田代高等学校に男子六十一名、女子三十一名計九十二名が池田、滑川、大原、田代の四校区から入学しました。

当時の田代高校は定時制であり就業年限は四年間で、農業科と家庭科がありました。一、二年生は、月火水木の四日、三、四年生は水木金の三日が出勤日となっており、三、四年生にとっては全休日校日は楽しみの一つでした。私たちが入学した四月は丁度堆肥づくりの時期であり、田や畑の耕うんなどの実習が



昔をふりかえって

多く、午後はほとんど農作業の実習でした。畜産部門では馬、牛、豚、にわとり、山羊に七面鳥と数多くの動物達と同居であり、授業中もブービー、コケコッコー、メーデーとそれぞれが自己主張の鳴き声の中での授業風景はのどかなものでありました。校舎のまわりは農作物がいっぱいで特に温室はメロンやトマト、キュウリなどが栽培され、にわとりのふ化もあり又家畜の出産時になるとそれぞれ担当が泊りこみで管理にあたりました。農作物の収穫期はトマト、キュウリ、ナス、カボチャなどリヤカーに山積して住宅や民家に販売に出かけて実習収益をあげていました。

24回郡民体育大会選手結団式挙行

町民の皆様方の多数の応援をお願いします。

※各競技会場



結団式

- 女子庭球 町開発センター
- 男子庭球 町総合グラウンド
- 男子卓球 岸良中体育館
- 剣道 内之浦小体育館
- 弓道 町弓道場
- 柔道 町武道館
- バドミントン 内之浦中
- 相撲 高屋神社
- ゲートボール 町総合グラウンド

- バレー男子 内之浦中
- 陸上 町総合グラウンド
- ソフト 内之浦小・中
- バレー女子 岸良小
- 野球 町総合グラウンド

第24回肝属郡民体育大会が内之浦町において、七月二十日(日)に開催されます。私たちの田代町では、この大会に向けて、去る六月十四日(土)派遣選手結団式を行いました。今年は、競技の全種目に延べ百七十二名の選手団を送ることになりました。

式では、選手を代表して和田剛一先生が力強い宣誓をされました。また、各競技責任者が壇上で選手一人ひとりを紹介、抱負を発表しました。

選手の皆さんのご健闘とご活躍を期待します。なお、各競技会場は、つぎの通りです。

※ソフト、バレー、野球は六月二十九日に実施されます。

※各チームの監督会は、七月十四日(月)午後二時より内之浦町開発センターであります。時間に遅れないようにして出会して下さい。なお、選手の変更等がありましたら、監督会の時に申し出て下さい。

第八回田代町

中学校剣道大会



優勝した大原Aチーム

第八回田代町小・中学校剣道大会が、六月二十八日開かれました。

この大会は、剣道を志す町内の小学生、中学生が一堂に集まり、お互いの技を競い合い親睦を深める機会とし、明るく心豊かな青少年を育成するために毎年行われています。今年は、小中学校の剣士六十名が集まり日頃鍛えた技を披露し、会場の拍手をあびていました。成績は次の通りです。

一、団体の部
○小学校(四年以下の部)
優勝 大原Aチーム

一位 田代Aチーム
○小学校(五年生以上の部)

優勝 田代Aチーム
二位 大原Aチーム
三位 田代Bと大原B
○中学校の部

優勝 大原Aチーム
二位 田代Aチーム
三位 大原Bと田代B
二、個人の部

○小学校(四年生以下の部)

優勝 柳田進(大原小)
二位 竹 要人(大原小)
三位 宮原洋平(大原小)
○五年生以上の部

優勝 徳永昭博(田代小)
二位 富尾祐太(田代小)
三位 近川隆児(田代小)
永嶺一也(大原小)

○中学校の部
優勝 永野伸作(大原中)
二位 大寺清美(田代中)
三位 福山康博(田代中)

大浦地毅(大原中)
町誌編さん委員紹介
○篠原 亮
○神田 三男
○小椋 正夫
○白桃 晋

以上四名の方が、町誌編さん委員に就任されました。参考となる資料がありましたら、教育委員会へ(内線55番)お知らせ下さい。

自転車競技大会で田代町5位



大会が終ってほっと一息

交通安全大根占地区大会が十五日(日)佐多町の青少年の広場で十四チームが参加して開かれました。

大会は自転車競技を通じて交通安全への関心を高めようというのがねらいで行われました。

田代町から三チームが参加して学科、実技で得点を競った結果、田代Cチームが堂々五位に入賞しました。

当日、参加した選手、役員応援団の皆さんご苦労さんでした。来年は、田代町が会場となります。学科、実技等をさらに、頑張って上位入賞ができるように期待しています。